

センター的機能 支援状況

校外支援の状況についてお知らせします。本校センター的機能における、2022年度4月から9月末までの校外支援の実施件数は、のべ98件でした。前年同期は、93件でしたのでほぼ同数になりました。以下に、その概要をお知らせします。

表1. 依頼者別相談件数と割合

依頼者等	就学前	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	子ども保育課	教育研究所	保護者	その他
件数(件)	19	53	6	0	0	1	4	4	11
割合(%)	24	68	8	0	0	1	5	5	14

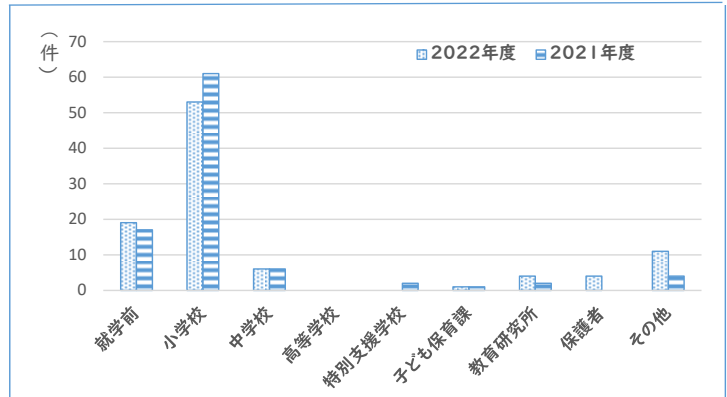


図1. 依頼者別相談件数

表2. 依頼内容別相談件数と割合

依頼内容等	訪問・巡回相談	来校相談	情報提供	研修会講師	物品貸出し	発達検査	その他
件数(件)	51	4	6	2	10	15	10
割合(%)	72	6	8	3	14	21	14

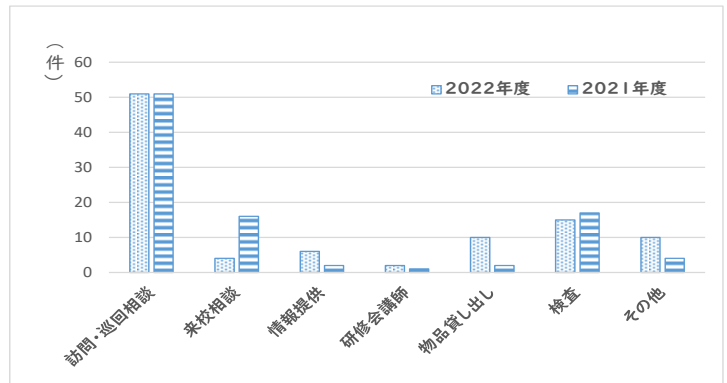


図2. 依頼内容別相談件数

依頼者別の相談件数では、昨年度同様、小学校からの相談件数の割合が高く、続いて、就学前の幼稚園・保育所・認定こども園からの相談件数の割合が高く、小学校と就学前を合わせると相談件数全体の約78%を占めています。地域の学校園や保護者が早期支援の重要性を感じていることを反映しているものと考えます。依頼内容別では、訪問相談・発達検査の依頼が多く、これは、行動観察や発達検査などによる、より専門的な実態把握、特性に合わせた支援の仕方についての助言を、学校園や保護者が求めていたためと分析しています。今後も、地域の学校園の教育的ニーズを的確に把握し、実効性の高い教育相談活動を展開していきたいと思っています。また、本校の保護者の皆様も、お子様の生活の様子でお困りのことがございましたら、相談に応じさせていただきますので、ぜひお声かけください。

「発達障がい・知的障がいの子どもの非行・性問題の対応について」
 「特別支援教育における情報モラル教育の充実について」
 「不器用なお子さんの支援～発達の凸凹と関わり～」

夏季公開研修会

夏季公開研修会は、本校自らが情報発信の拠点となることを目指し、平成17年度より開催しております。今年度も8月1日から8月31日まで、Web上での動画配信により、上記3講演を開催いたしました。県内・県外の138名の教育関係者が参加してくださいました。アンケート結果より、「新しい知識を得ることができた。」「児童生徒理解と具体的な指導方法を学ぶことができ、今後の実践に活用していきたい。」「特別支援教育の視点からそれぞれの課題へアプローチしていく上で大切なことを教えていただいた。」等の感想が寄せられました。本校教員も研修したことをこれからの指導・支援に活かして参りたいと思います。

鴨島病院連携事業

今年度も、鴨島病院の専門家(理学療法士・作業療法士)の先生方に来校していただき、児童生徒の体の動きや手指の操作などについて、助言をいただきました。教師の指導方法の改善と資質向上に努め、児童生徒への指導につなげていきたいと思っております。後期も12月に来校していただく予定です。御家庭で相談したいことなどがございましたら、担任までお知らせください。